

護衛艦すずなみ JS SUZUNAMI



海上自衛隊
JAPAN MARITIME SELF DEFENSE FORCE

ようこそ『すずなみ』へ (WELCOME ABOARD)

本日は、ようこそ護衛艦「すずなみ」にご来艦いただきました。

皆様の乗艦を乗員一同、心から歓迎いたします。

「すずなみ」は、平成13年度に計画されました「たかなみ」型護衛艦であり平成18年2月に就役しました。本艦は護衛艦隊に所属し、青森県の大湊を母港としております。

各種武器システムは、高性能、高機能を有したコンピュータで制御されており、戦闘指揮システムにより管制されたレーダー、ソーナー等搜索武器及び127ミリ速射砲、垂直発射型対空・対潜ミサイル(VLS)等の攻撃武器を装備するとともに、哨戒ヘリコプターを搭載し多様な事態に対応いたします。

また、安全かつ効率的に業務を推進するために艦橋操舵システム及び機関システム等の装備の高性能化、省人化を図っております。

さらには、長期間に渡る行動に応じるための整備システム、乗員の居住環境の向上が図られております。

本日は、艦内をご覧いただき、「すずなみ」及び海上自衛隊に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

なお、ご見学中にご不明な点やご要望などがございましたら、ご遠慮なく近くの乗員にお申し付けください。

すずなみ艦長

Welcome aboard Japan Ship SUZUNAMI!

On behalf of all the officers and crew of JS SUZUNAMI, I would like to express my heartfelt welcome.

SUZUNAMI, as a TAKANAMI-class Destroyer, was budgeted in FY2001 and commissioned in February 2006. She is assigned to the Fleet Escort Force, homeported in Ominato of Aomori prefecture on Sea of Japan side.

SUZUNAMI is expected to cope with variety of situations, with her own sensors like Radar and Sonar as well as weapons including 127mm Rapid Fire Gun and Vertical Launching System (VLS) for anti-air/ anti-submarine missiles, combined with her deployed patrol helicopter. Her various weapon systems are integrated by Combat Direction System (CDS) with high performance computers.

Her systems, such as advanced Bridge System and automated Engine Control System, enable us to carry out our missions safely and efficiently which also contribute to reduced personnel.

In addition, SUZUNAMI has an improved maintenance system and comfortable residence areas for long-term activities at seas.

I hope you would have a good knowledge of SUZUNAMI and of the Japan Maritime Self Defense Force (JMSDF) through today's ship tour.

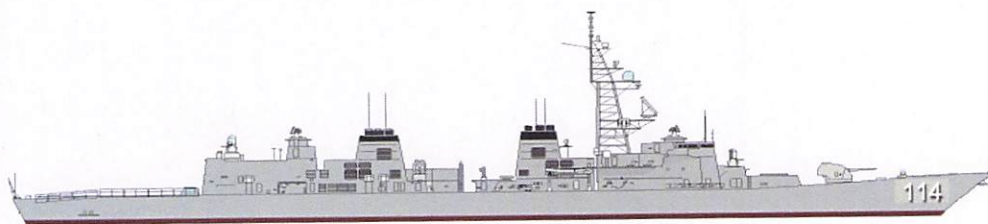
Please feel free to ask any questions and requests to my crew.

Thank you.

Commanding Officer, JS SUZUNAMI.

主要要目 (Specifications)

起工 (keel laid)	15. 9. 24	(24 Sep 2003)
進水 (launched)	16. 8. 26	(26 Aug 2004)
就役 (commissioned)	18. 2. 16	(16 Feb 2006)
建造所 (Builder)	IHI マリン・ユナイテッド横浜工場 (IHI・MU Yokohama shipyard)	
定係港 (Homeport)	大湊 (Ominato)	



全長 (Length)	151メートル	(495 Feet)
全幅 (Beam)	17.4メートル	(57 Feet)
喫水 (Draft)	5.3メートル	(17 Feet)
排水量 (Displacement)	4,650トン	(4,650 Tons)
乗員数 (Crew)	約180名	(Approx. 180)

主機 (Main Engine)	ガスタービン×4基 (4 Gas Turbine Engines) LM2500×2基 (2 LM2500) SM1C ×2基 (2 SM1C)	
推進器 (Propellers)	可変ピッチプロペラ×2軸 (2 CPP Shafts)	
馬力 (Shaft Horsepower)	60,000 ps (60,000 Shaft Horsepower)	
速度 (Speed)	30ノット《約55 km/h》 (30Knots 《55kph》)	

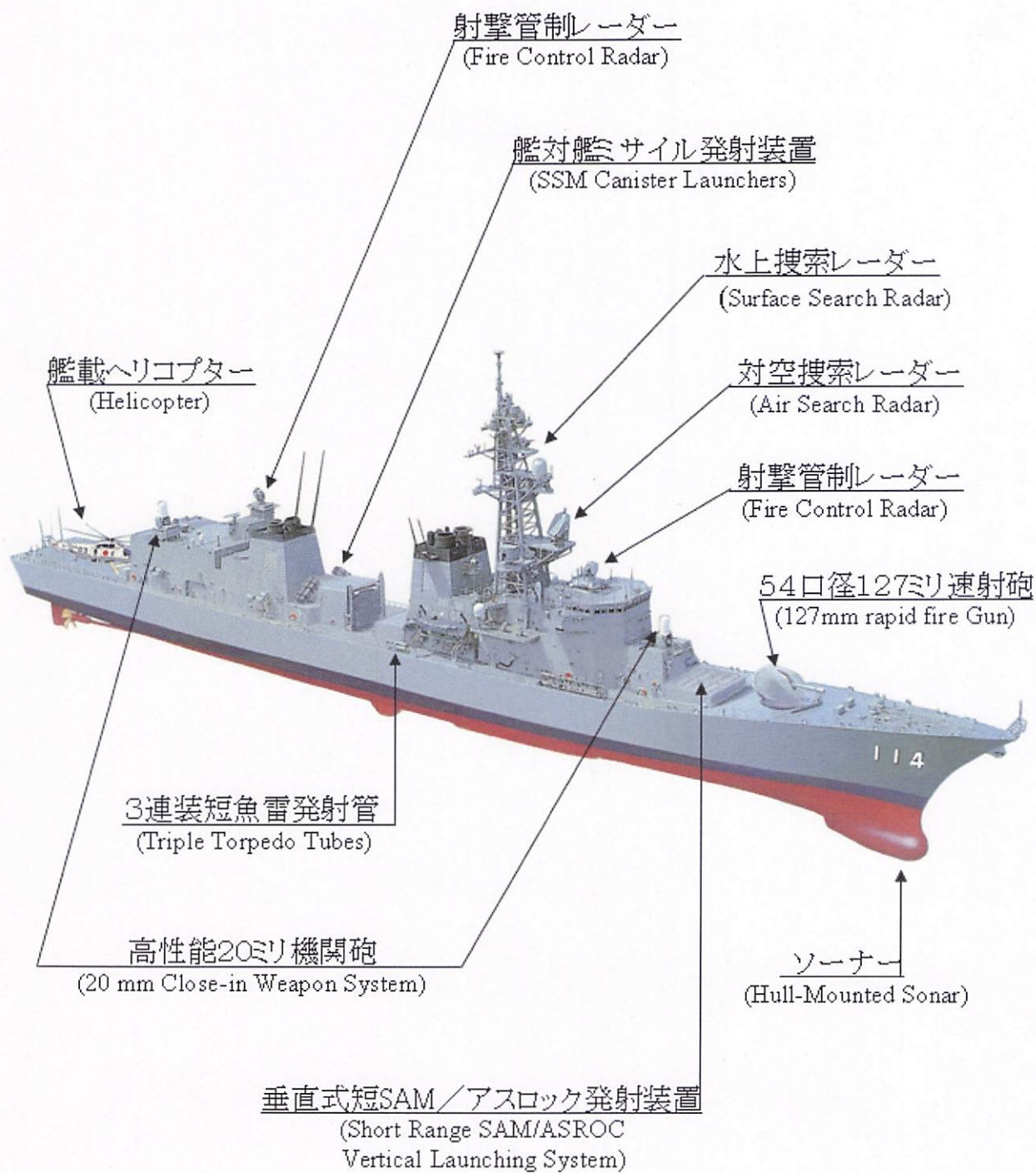


航空機 (Aircraft)	SH-60J哨戒ヘリコプター	
重量 (Weight)	9.7トン (9.7 Tons)	
速度 (Speed)	149ノット《約290 km/h》	



	SH-60K哨戒ヘリコプター	
	11トン (11 Tons)	
	139ノット《約250 km/h》	

主要装備外観図 (Appearance)



主要武器 (Weapons)



垂直式短SAM発射装置
(VLS for Short range SAM)
近接する対空目標に対処する対空ミサイルを発射する装置です。



54口径127ミリ速射砲
(127mm rapid fire Gun)
対空、対水上目標に幅広く対処する砲です。



艦対艦ミサイル発射装置
(SSM Canister Launchers)
艦艇を攻撃するための対艦ミサイルを発射する装置です。



高性能20ミリ機関砲
(20mm Close-in Weapon System)
近接する対空、対水上目標に対処する自動機関砲です。



垂直式アスロック発射装置
(VLS for Anti Submarine Rocket)
遠距離で探知した潜水艦に対し、攻撃用魚雷にロケットを装着したアスロック (VLA) を発射する装置です。



3連装短魚雷発射管
(Triple Torpedo Tubes)
潜水艦攻撃用の魚雷を圧縮空気で発射する装置です。

組織編成・主要業務 (Structure Organization・Main Business)

艦内の組織は、7つの科で編成されており、各科の業務は次のとおりです。

- 砲雷科
砲、ミサイル及び魚雷に関連する武器システムの操作及び維持整備を行います。

(写真：127mm砲の整備作業)



- 船務科
部隊の作戦に携わるとともに、レーダー通信システム等により、目標の搜索、情報収集を行います。

(写真：戦術情報等による作図作業)



- 航海科
艦橋で、艦の運航、信号の送受信及び、気象・海洋観測を行います。

(写真：発光信号)



- 機関科
機関、発電機等の操作、維持整備及び攻撃等を受けた場合、被害対処を行います。

(写真：操縦室内の機関監視状況)



- 補給科・衛生科
各種装備武器等の物品の補給を行うとともに、給食、経理、医務、さらには健康管理等を行います。

(写真：調理作業)



- 飛行科
搭載する哨戒ヘリコプターの運航に携わるとともに維持整備を行います。

(写真：艦載ヘリコプターの誘導作業)



歴代『すずなみ(涼波)』(Successive SUZUNAMI)

海上自衛隊のヘリコプター搭載護衛艦の艦名は、主に天象、海象に由来しております。

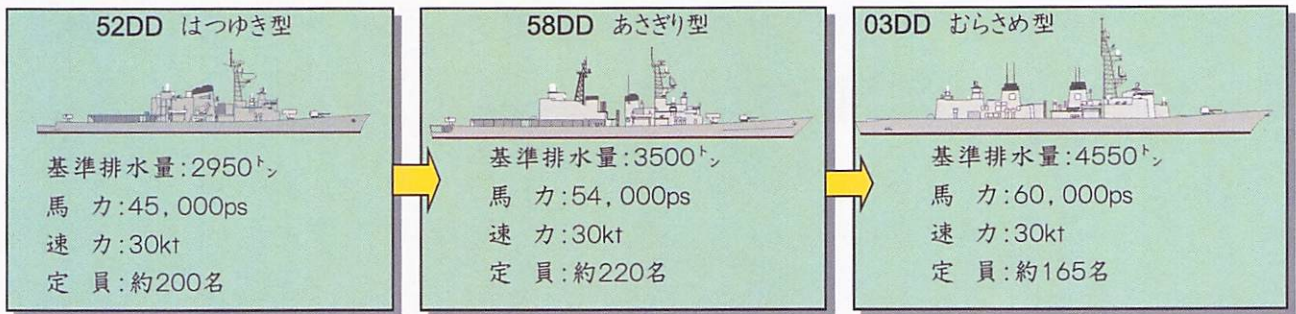
ヘリコプター搭載汎用護衛艦は、昭和52年度計画の「はつゆき」(初雪)型、昭和58年度計画の「あさぎり」(朝霧)型、平成3年度計画の「むらさめ」(村雨)型、そして平成10年度以降計画された本艦と同型の「たかなみ」(高波)型と推移しております。

なお、「たかなみ」型では、1番艦「たかなみ」から「おおなみ」、「まきなみ」、「さざなみ」と続き本艦「すずなみ」は、5番目に建造された艦となります。

「すずなみ」は「涼波」と書き、澄んで清い波を表すものとして平成16年8月26日に行われた命名進水式において防衛庁長官から命名されました。

なお、「すずなみ」(涼波)という艦名は海上自衛隊では、初めてであります。旧海軍では「夕雲」型駆逐艦の11番艦として昭和18年7月に竣工しております。

ヘリコプター搭載汎用護衛艦の推移



《 参考 》

初代「涼波」(1st SUZUNAMI)



- ・ 甲型(1等)駆逐艦「(夕雲)」型の11番艦として昭和18年7月3日に浦賀船渠にて竣工
- ・ 昭和18年10月からトラック、ラバウル(ニューギニア)等で戦艦「山城」の護衛に従事し、昭和18年11月11日、ラバウル湾外で米艦艇部隊の攻撃を受け、戦没

全長 (Length)	117メートル	(384 Feet)
排水量 (Displacement)	2080トン	(2080Tons)
馬力 (Shaft Horsepower)	52,000ps	(52,000 Shaft Horsepower)
速度 (Speed)	35ノット	(35+ Knots)
乗員 (Crew)	225名	(Approx.225)
兵装 (Weapons)	50口径127ミリ連装砲×3基	(4.5 inch 50 Gun)
	25ミリ連装機銃×3基	(1 inch Gun)
	61センチ4連装魚雷発射管×2基	(21.5 inch Torpedo Tubes)

「すずなみ」のイメージキャラクター
(Image Character of JDS SUZUNAMI)



「GRAND FALCON」

「すずなみ」のイメージキャラクターは、海の荒波に力強く羽ばたき、素早く獲物を狙う「はやぶさ」です。

外見上は決して大きくはなく、優しい姿であります。平素からあらゆる感性をときすまし、共に生存している者の生命を守り、必要とあれば、強い目標でも敢然と立ち向かう“ファイター”です。この「はやぶさ」(GRAND FALCON)を本艦「すずなみ」のシンボルとしてイメージキャラクターに選びました。

また、「すずなみ」の乗員も気は優しく、明るくて力強い「はやぶさ」みたいな性格であって欲しいという艦長の願いが込められています。

An image character of SUZUNAMI is “Grand Falcon” which flaps powerfully and has a keen eye on a target in raging waves of the Sea of Japan.

Outwardly the bird is never big and is a tender figure, however, he sharpens well his every sensitivity for defending lives of coexisting fellows in peace time, when necessary, he fights bravely against even a formidable enemy. Literally, he is a real “fighter.”

For these reasons, we selected “Grand Falcon” as an image character which symbolizes the spirit of SUZUNAMI.

In addition, the character expresses a wish of the commanding officer for all the SUZUNAMI crew to be gentle, bright, and tough like “Grand Falcon.”

お気付きの点、ご意見、ご感想等がございましたら、お近くの乗組員にお伝えくださるか、ご意見を下記の連絡先に送付いただければ幸いです。今後、より良い広報とするための参考とさせていただきます。本日は、ご来艦ありがとうございました。

〒035-8511 青森県むつ市大湊町2-50

海上自衛隊大湊地方総監部気付 護衛艦「すずなみ」